

FUJIEDA ROTARY CLUB WEEKLY BULLETIN

例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL 054-641-3321

事務局：藤枝市青木1-9-16 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040



紅葉

[写真提供：櫻井龍太君]

2003-2004年度RIテーマ

◆Lend a Hand◆

◆手を貸そう◆

[ジョンソンB.マジアペ]



会長：渡辺篤司 副会長：柳原寿男
幹事：小宮弘一郎 副幹事：宮川邦光

第1553回

<ソング> 四つのテスト
<ソングリーダー> 後藤 功君

会長報告

渡辺 篤司君

今年は世界的に気候が狂っているようです。日本も8月は冷夏で9月は真夏日が続き、冬至を過ぎた今月も8日間雨が降り、この時期普通なら雨が降るたびに寒くなるのですが、19日は暖かい宵恵比寿講で、昔なら北風が吹き人々は足早で買い物に行く光景を良く見たものです。現在はいかに温暖化になっているかがわかります。

11月15日は高校サッカー県大会決勝で清水東と藤枝東が競い藤枝東高校が勝ち冬の選手権出場が6年ぶりに決まりました。皆で応援したいと思います。2620地区財団委員長の卓話を頂きました。高崎博次様には遠方よりおいで頂きありがとうございました。

幹事報告

小宮 弘一郎君

11/8～11/9日の地区大会参加御礼がガバナーと地区大会実行委員長より届いています。

焼津RCより2004年3月13日のIM記念講演に各アクトや高校生にも参加呼び掛けのお願いが届いています。

第58回国民体育大会の御礼が届いています。国際大会参加者仮集計提出のお願いが届いています。

マッチング・グラントのお願いが届いています。静岡RC・静岡西RC・静岡北RCの会報が届いています。

国際友好協会より会報が届いています。

出席報告

平田 宗太郎君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
27 / 43 62.79%	33 / 43 76.74%

(1)欠席者(事前連絡とメーキャップをどうぞ)

栗原君 鈴木廣君 仲田廣君 松葉隆君
平君 酒向君 山田君 池ノ谷君

杉山君 浅川君 板倉君 鈴木舜君 仲田晃君
水野君 村松英君 望月志君

(2)メーキャップ者

栗原 毅君(藤枝南) 岩崎 四郎君(静岡北)

ビジター

高崎 博次君(富士宮) 飯田 敏之君(藤枝南)
藪崎 宰一君(藤枝南)

スマイルBOX

宮川 邦光君

- 母校サッカー部の6年振りの優勝に私事の様にうれしい。諸先輩様も今後の応援を宜しく。後援会役員として 飯塚 秀彦君
- 卓話者の地区ロータリー財団委員長高崎様より卓話御礼をニコニコに頂きました。

スマイル累計額 456,500円

卓話

地区ロータリー財団委員長 高崎 博次様

【ポリオ撲滅活動について】

ポリオ撲滅活動についてお話をしたいと思います。ポリオとは皆さんご存知の様に小児麻痺のことで、ポリオウィルスによる急性感染症で*2～3

才児が主にかかる運動機能の麻痺の病気です。

1979年、ロータリーは初めてポリオのプロジェクトに携わりました。フィリピンの600万の子供にポリオの予防接種をするなど3Hプログラムの最初のプロジェクトです。

1980年初め、世界の子供にポリオの予防接種をしようとする史上最も意欲的なプログラムを計画しました。1985年、ポリオ・プラス・プログラムを設けました。ポリオと共に、麻疹、ジフテリア、結核、百日咳、破傷風の5つをプラスして同時追放を目的としました。

この年は、国連の40周年に当たりますが、ロータリーは1億2000万ドルを集めるという声明を発表し、1986年7月からスタートしました。

その目標は、5年間毎年1億人の新生児に24セントの経口ポリオ・ワクチンを投与する費用を計算したものでした。この募金は、2年掛からないで2億4700万ドルを集める事が出来、1988年6月末で終了しました。勿論、日本も約49億円の寄付金を集めました。

ここで、世界のロータリーは勝利宣言をしてしまったのです。ワクチン募金は終わったと理解したわけです。

1995年、規定審議会に於いて2000年までにポリオを一掃し、その後、ロータリー100周年の2005年までにポリオの撲滅を証明することが採決されました。

それ以後も、ロータリーは全世界的なポリオ撲滅に対し協力を続け、2002年7月1日までに約5億ドル以上の支出をしました。

この運動は、1985年の開始から2001年末まで20億人以上の子供たちが経口ポリオ・ワクチンの投与を受け、ポリオの予防に成功はしました。しかし、ポリオは撲滅されていません。まだ発生しているわけです。結局、「甘かった」ということで



す。確かに、1986年には50万人の発生が0に向かっていることは確かですが、結局、まだ0ではないという事です。

そのため、2005年が0目標と改めてポリオ撲滅のための計画をWHOが樹て、ロータリーは8000万ドルを約束し、日本も1600万ドルを約束する「ポリオ撲滅募金キャンペーン」が展開されているわけです。

ロータリー100周年には、終結宣言が出来なかったのですが、ポリオ撲滅は世界に対する約束事であり、撲滅すると信じてやるしかない、今ここでやめられない、というのが本音の話だと思いません。

WHOの偉い人が2003年12月末に発生を0に出来る。但し、3年経たないと終結宣言が出来ないのでと言われているそうですが、しかし、今回は本当に行けるのか？という心配は残ります。最後までの問題点は、生活水準を上げなければ基本的解決にならぬという事になるでしょう。最後の1%への挑戦になります。「信じて行えば、奇跡もおこる」ということでしょうか。

なお、ロータリー財団については、ガバナー月信11月号に掲載しておりますのでご覧下さい。

(担当/平井)